

令和4年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

|                                             |                 |
|---------------------------------------------|-----------------|
| 日時： 2023年2月15日 13:10-14:30                  | 場所： 本庁舎2階 会議室 1 |
| 出席者： 町長 遠藤浩 教育長 渡井渡 教育委員 塩島萬夫・小林和実・渡邊久・今村孝男 | 欠席者：            |
| 教育総務課長 相川由美 生涯学習課長 森川規彦 総務施設係 横田雅明          |                 |
| 作成部署： 教育総務課 総務施設係                           | 作成者： 横田雅明       |

議事録内容 (1)

司会進行：相川教育総務課長

相川課長：本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。私は本日司会を務めます教育総務課長の相川由美と申します、  
よろしく願いいたします。市川三郷町総合教育会議設置要綱第6条により本総合教育会議は公開といたします。本日  
傍聴人はございませんがご承知おきください。

1.開会

渡井教育長：皆様こんにちは、お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。総合教育会議は町長と教育委員の皆様が直接  
お話ができる貴重な機会だと思っております。ぜひ本日はみさと学を中心に話し合いをしていただくわけですが有意義  
な会議になるようよろしくお願い申し上げます。市川三郷町総合教育会議を開式いたします。

2.あいさつ

遠藤町長：改めましてこんにちは。今日は今年第1回の総合教育会議を招集したところ全員の委員の皆様にお集まりいただきまし  
てありがとうございます。教育長から話があったとおり新しい教育委員会制度になってから総合教育会議は行われるこ  
とになり、今年で16回目になります。教育委員の皆様と一緒に議論をかわしながら町の教育行政を進展させることを  
目的としています。また、日頃から市川三郷町の教育推進のためにご尽力をいただいていることにも感謝を申し上げ、  
1月8日に開催されました二十歳の集いにも参加していただきまして大変に感謝をしております。また、ご覧のとおり  
粛々と私語もなく行われとてもよい二十歳の集いだったと思います、改めて感謝申し上げます。総合教育会議は地方教  
育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定に基づき教育を資するため招集するものであります。本町  
は議題にもありますとおり、ふるさと教育とキャリア教育を融合して地域社会と連携をしながら行う教育を推進してお  
りそれをみさと学と名付けています。児童・生徒がふるさとを知り、自らを見つめ、自らの生き方を考える学習であり  
将来市川三郷町を支えていく子どもを育む取り組みであります。昨年9月に大東建託が住みやすい町ランキングの公表  
がございました、昭和町に続き市川三郷町が第2位になっておりその調査項目で地域に愛着・誇りがあるという項目で  
1位、2位となっており市川三郷町に住んでいる町民の方に愛着・誇りをもっている方がいらっしゃるということで、  
教育委員会が目指しているみさと学と融合しているのではないかとということでさらにこの取組を町全体に広めて今後も  
このようなまちづくりを進めていきたいと思っています。本町の教育発展のために皆様には忌憚のないご意見をいただ  
きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

相川課長：市川三郷町総合教育会議設置要綱第4条に町長が議長となる旨が定められております。遠藤町長、議長をよろしく願  
いいたします。

3.議題

遠藤町長：それでは議題に入ります。議題①「みさと学推進について」教育長お願いいたします。

渡井教育長：資料1をご覧ください、これはみさと学の全体構想図になっております。町長の話にもあったとおりふるさとを知り、

自らを見つめ、自らの生き方を考える学習ということでふるさとキャリア教育をみさと学と名付けています。資料左下のチーム学校の横にふるさと教育・キャリア教育と書かれているように一体化して育てていき、その教育を支えていくのが右下にある地域社会であります。ポイントは学校と地域社会の真ん中に学校を支え地域社会発展を促す地域学校協働本部という組織を設置しており、いままでに市川南小中でひとつ、市川小中と市川東小でひとつ今年設置しました。そして、来年六郷地区と三珠地区に設置予定で市川三郷町に4つの地域学校協働本部が設置され、益々このみさと学が推進していくようになります。資料2をご覧ください、みさと学の推進図です。2018年に町の総合計画が策定されこのなかにはふるさとキャリア教育の推進が計画されています。そこから協議を重ね昨年度推進協議会が発足され実質上みさと学の推進がスタートしました。今年も推進は着々と進んでおり、今後は資料右下2024年からコミュニティスクールを全地区に設置していくことで活動を推進していくという目標もございます。資料3をご覧ください、教職員用に作り出した全体計画です。資料1で示した全体構想のさらに細かい全体的な目標や育みたい力が明記されています。ポイントは真ん中に記載されているみさと学を通して育てたい力で、小学校から中学校まで9年間を見通して指導内容や指導目標が記載されています。資料4をご覧ください、みさと学のご意見がまとめられています。四角の中に記載されている第1回市川三郷町ふるさとキャリア教育推進会議がみさと学を推進する主な会議で5月19日に行いました。この会議に参加されている様々な業種や立場の方からご意見をいただいたものをまとめたものです。読んでいただければ有意義なご意見、みさと学に期待しているもの、今後の課題が記載されていますので参考にいただければと思います。資料5をご覧ください、今年度どのような活動を行ったかの進捗状況が記載されています。左側に今年度行う計画が記載されており8項目あります。1番目は各校の「年間指導計画について」です。各学校に年間指導計画があり右側に記載されているとおり実施できています。2番目は「小中9年間の活動計画のブラッシュアップを行う」です。小中連携で計画を立てるということは大変なことで小学校、中学校の先生が集まって計画するということがなされなかったもので計画を作成しました。今まで3回研究委員会を開催して、4回目の研究委員会が開催されますが、計画の見直しや整理が行われていますので実施できている状況です。3番目は「地域学校協働本部の設立を進める」です。これについては先ほど説明した通り右のような状況になっています。4番目は「青洲高校と各中学校との連携を進める」です。資料1でご覧いただいた図にも入っており、現在4中学校で青洲高校を見学しています。来年度はさらに推進し多くの中学生が青洲高校へ入学してしていただけたらと思っています。5番は「教員研修を検討する」です。いままではコロナの状況もあり実施できないでいましたが、右側の進捗状況にありますとおり教員の郷土学習の一環として新町前遺跡の研修を動画配信で実施しています。みさと学動画視聴のお願いをご覧くださいと2月の15日配信になっていますのでつい先日できあがりました。10分程度で新町前遺跡や市川の歴史がわかりやすくまとめられた動画になっておりyoutubeにアップロードされていますのでぜひご覧ください。一堂に会しての研修も検討しましたがコロナの影響で動画配信での研修に行きつきました、今後も研修を行うよう検討・実施します。6番は「成果発表会の開催を検討する」です。各学校で行ったみさと学についての活動の結果を発表する場が必要ではないかということで右を見ていただければわかるとおり上野小、市川小、南小、市川中、六郷中を代表に動画配信を予定と書いてありますがすでにされています。ただ、こちらはyoutubeアップロードではなく学校のシステム上にアップロードされているため先生方は見ることができませんが外部は見ることができないので関心のある方はDVDをお貸ししますのでお声掛けください、将来的には町民の方々をお招きして活動発表会を行いたいと考えています。コロナ禍ではございますが6番も着実に実施されています。7番は「幼稚園・保育園と各小学校との連携を検討する」です。県の教育委員会で幼稚園から小学校へ入学するまでどのようなカリキュラムで学習するか策定中で私もその会議に参加しています。計画が策定後それを元に来年度に向けて連携を進めていきます。小学校から中学校の9年間だけで培ったものが終わるのではなく幼稚園・保育園・高校と連携し一貫した教育を行うことにより将来の市川三郷町を支えていくような子どもたちを育てられるのではないかと計画です。8番は町民に対する活動の周知を行うです。これは町ホームページに掲載・町広報誌で特集記事掲載・資料1のとおり町商工会へ職場体験の協力依頼行いました。以上が今年度行った事業の進捗状況です。資料6をご覧ください、年間指導計画の中からみさと学に該当するであろう内容を抜粋したものです。これは完成版ではなくこれをブラッシュアップしている途中ですので4月に提出していただいた計画の抜粋です。ご覧いただくとみさと学は各学校で行われておりますが学校ごとで活動に差があり小中の連携も課題となっています。現在どのような活動をしているか資料を作成しましたのでご覧いただきたいと思います。以上説明とさせていただきます。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 遠藤町長：みさと学推進についてご質問、ご意見ございますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 今村委員：資料5に活動計画と指導計画があるが違いはなんですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 渡井教育長：大筋どのようなところをするか記載されているもので全体計画がついているものを指導計画、学校ごとの活動が記載されている物を活動計画としているが大きな違いはありません。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 渡井教育長：六郷小学校の校長に体験学習について、将来はんこ屋さんになってもらいたいから実施しているのかと根本的な質問を受けました。回答としては、体験学習で地場産業に触れることによってはんこや紙すきの職人になってほしいということではなく、地域を支えてきた産業を体験することで地域の仕事のすごさや大切さを知り将来職につくために職場の感覚を養ってもらうことを目的としています。職場体験した職業に就いてもらいたいともらいたいと直結して考えてしまうことがあるが広い感覚で体験を行ってほしいです。                                                                                  |
| 塩島職務代理：どこの地域でも先人達が培った歴史や産業や文化を学ぶことが大切であり、大塚地域ではにんじんのことを学び農家になってほしいということではないので、そのような感覚でふるさとキャリア教育を学び将来の町をどのように考えていくのが大事だと思います。                                                                                                                                                                                                       |
| 遠藤町長：小林委員なにかありますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 小林委員：みさと学についてあまり知らなかったのでこのような立場になって勉強をさせていただき、将来他の町に行くことになった時に自分の町の特産などを話せることはとてもいいことだと思います。                                                                                                                                                                                                                                        |
| 渡井教育長：私もそのように思っています。例えば、外国籍や学区外でそもそもここがふるさとではない子もいるわけですが、その子たちにとってみさと学とはどのようなものなのかというと、現在通っている学校の地域の歴史や産業にふれることで自分の生まれ故郷にもあるはずなんだと思いをはせることが大事です。みさと学で学ぶことは無駄ではなくそこから自分の生まれ故郷に思いをはせることができ、将来役に立つとらえて進めていけたらいいなと思っています。本町で生まれ育った子がここで生活してもらえればそれはもちろんいいことですが広い考えがあってもいいのではないかと思います。                                                   |
| 遠藤町長：渡邊委員なにかありますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 渡邊委員：みさと学の研究委員会にて出席者の皆さまが地場産業や地域文化を大切にしていることを感じました、広報誌でのみさと学のアピールもとてもよかったと思います。県外に出るようなことがあっても地域の話ができることは良いことだし、小中一貫してみさと学を学び、青洲高校へ入学すれば地域愛にあふれた生徒の教育ができると思います。現在はコロナの影響で実施できていませんが各学校へ出向き地域の農作物収穫体験や職場体験等に参加したいと考えていますのでお声かけいただければと思います。                                                                                           |
| 遠藤町長：塩島職務代理どうですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 塩島職務代理：みさと学のホームページや広報での周知を各家庭へ情報提供のため引き続き行っていただきたいと思います。商工会や家庭が協力して教育を行うことはとても大事なことだと思います。学校はこのようなことをしていますということを周知することもとても大事だと思います。動画配信もよいところみだだと思います、このようなご時世なので難しいですがみさと学の活動動画をみんなで集まり視聴できればわかりやすいですがなかなか難しいです。                                                                                                                   |
| 遠藤町長：広報活動で動画を作成したのですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 渡井教育長：教員内部でのネットワークで見ることができる動画があります。個人情報等の問題で公開はしていませんが保護者は見てもいいのではないかと考えています。そのような広がりも検討していきたいです。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 遠藤町長：とてもいいところみだと思います動画データをいただきたいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 渡井教育長：わかりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 遠藤町長：その他ご質問・ご意見ありませんか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 今村委員：私どもがキャリア教育と聞くと仕事という意味合いを強くとってしまいましたが、地場産業を学ぶということで将来の選択肢を広げるということでもとても大事なことだと思います。みさと学の計画ができあがり、数年後目までの教育計画がある中で各家庭へどれだけ周知できるかが課題という話がありました。地域の力をどれだけ借りることができるかが重要だと思います。これから設置される地域学校協働本部との協力も重要なポイントになってくると思いますので取りまとめをお願いします。町内にはことばの森や退職された先生方がいらっしゃいますのでそのような力と協力し行っていきたい。みさと学を学ぶことで日本・世界の文化や地場産業に興味を持ち広い視野で学べるような教育ができれば |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| よいなと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 遠藤町長：キャリアの言葉の定義について小中学校は生きる力をキャリア、高校では職業についてがキャリアでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 渡井教育長：小中学校は生き方、高校では社会人に近づく職業観を養うこととしています。小学校でも職場見学を行っています、中学校では職業体験等より職業を意識した計画になっています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 遠藤町長：キャリアについていい表現はないでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 今村委員：キャリアというよりも全体でみさと学という表現でいいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 渡井教育長：象徴的なネーミングをすると印象に残るというメリットもありますが、毎回説明しなければならないというデメリットもあります。キャッチコピー的なネーミングは賛否がでてしまいましたが、ふるさとキャリア教育というと長く継続性がないのでみさと学という言い方で継続して活動していきたいと委員会でも検討して決定した経緯があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 塩島職務代理：みさと学というネーミングについて中身を説明しなければならないという話がありましたが、ふるさと教育とキャリア教育が融合してみさと学なんだと話をした方がわかりやすく、丁寧かなと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 遠藤町長：人材育成については保育園から高校まで一貫した教育を行うことにより、時間はかかるかもしれませんが市川三郷を担う人材が育っていくと思います。世界にはばたく人材という面では、ふるさと大使の山本由紀美さんは帰ってくるたびにご自身の活動報告をしに来庁してくれますし、ほかにも笠井千晶さん等多方面に活躍する方々がいますので今後も新しい人材が出てくるものと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 渡井教育長：みさと学の資料で市川三郷町で活躍する人材というものを狭くとってしまうと市川三郷町内で活躍する人材の育成ととってしまう場合がありますが、どこにいても世界に飛び立っても市川三郷町を支えていくことはできるし実際そのような人材がたくさんいます。みさと学の内容を狭くとするのではなくて世界に飛び立って活躍できるような子どもが育っていくようにと広く含まれていると解釈しております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 塩島職務代理：先進的なふるさと学習、キャリア学習の例でふるさと教育だけでは人材の流出は起こらず、キャリア教育を行うと人材の流出が加速するという記事を見たことがあります。ふるさと教育とキャリア教育を融合させることは難しいことであるとは思いますが、ふるさとを学びながら自分の将来を考える子どもを育てることができるのではと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 渡井教育長：みさと学の資料にキャリアパスポートという言葉が出てきていますが、それは今まで学習してきた内容を積み重ねて記録したものです。ふるさと教育とキャリア教育の融合の面では小学校で行っているふるさと学習もキャリアパスポートができつつあるのではないかと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 塩島職務代理：キャリアパスポートを青洲高校に引き継いでいくこともすごく大事なことだと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 渡井教育長：青洲学は探求型の学習で内容も似ているところがあります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 遠藤町長：みさと学と青洲学で連携した活動はありますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 渡井教育長：青洲高校へ学校見学を行いました。今後は青洲学の活動発表の参加や何かテーマを決めて合同で活動できればと思っています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 渡邊委員：みさと学で中学1年生が青洲高校の見学をしていますけどどのような内容ですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 渡井教育長：細かい内容まで入手していませんが学校施設と授業内容を見学しているのではないかと思います。進学が近づく中学2年生の見学も中学校で検討してもらっていますが、年間計画は最初に決めてしまうため実行は翌年以降になります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 今村委員：青洲高校から中学校へ行く活動はありますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 遠藤町長：高校の音楽部が学校へ出向き指導をするという活動は前から行っています。音楽部の活動としてではなく青洲学と連携して学校と学校での係わりができたと思います。このような活動をするのに地域学校協働本部がありまして、地域学校協働本部は学校の教育活動全体を支える組織でその一つがみさと学というイメージです。そのほかには学習や人権教育等学校で行うことを地域学校協働本部が支えていきます。地域学校協働本部が学校に協力することで地域自体も活性化するという発想でみさと学の資料でも相互協力の両方向の矢印になっています。学校の活動を支援することが地域を活性化させることになります例えば、読み聞かせ教室を行う場合、地元の地域に講師をやってみたいと考えているがどのように協力していいかわからないというような人材を発掘して地域学校協働本部から学校の教育活動につなげることで地域を活性化させるようなイメージです。その一つとして商工会に出向き職場体験への協力をお願いしてきました。商工会では自分たちから学校へ何かしなければいけない1方向の協力のイメージを持っていましたがそうではなく、職場見学にきた児童生徒が将来その職場で働くことを考える機会になったり、町内からでも町の助けになるような子が現れるかもしれません。10年後の市川三郷町を一緒に作りませんかというイメージで協力する支えあいがあれば市川三郷町全体の活性化につながると思います。 |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 遠藤町長：議題②「意見交換について」なにかありましたらご発言いただきたいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 塩島職務代理：現在の町の現状で少子高齢化の影響が児童生徒数が減少しております。本町ではきめ細やかな指導が行われている中で生徒数が少ないことをメリットととらえながら地域に寄り添った特色ある教育活動を展開してくれていると思っています。近隣では学校の統廃合が進んでいる現状もありますが本町では地域や学校の特性を大切にいただいて手厚い支援をしていただいているところです。本町は人を呼び込むことができる可能性が非常に高いと思っています、これまでも様々な政策を実施しており、新規に他町・他県から住宅を建築して転入してもらえるよう対策していただいているところですが遊休農地等の土地利用について私たちのわからない規制等や課題等があるとは思いますが、その様なことにも対応しながら生徒数・人口の増加を推進することによってにぎわいのある町になるようお願いします。                                                                                                                       |
| 遠藤町長：学校の統廃合については統廃合ありきで議論するのではなく、統廃合することによってどのように影響が出るかを検証することが先かなと考えています。地域の活性化についてはみさと学で地域と連携して活動することによって活性化につながると思います。他町から人を呼ぶ方法については現在三珠地区で住宅需要があり、今後リニア開通等社会情勢も変化しますので住宅政策も考えていくところでもあります。中部横断道六郷ICが開通し周辺も開発に動き出しますので地域にあたる影響を考えつつ対策を検討するところでもあります。人口減少に対して地域の活力を落とさないためには所得を増やしていかなければならないということと、リンケージ人口と言いましてふるさと納税や神明の花火での協賛者等町民ではない方から支援いただいて活性化していかなければならないと思います。小中学生の児童生徒を増やすには山村留学は可能性としていかがですか。                                                                                             |
| 相川課長：峡南地域でも話題になっていますが山村留学は町独自で行うものと認識しています。今のところ留学生の受け入れ等計画はされておらず、もし行うならば留学生を受け入れる住宅をどうするかの問題もあります。今後需要があれば計画を検討したいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 遠藤町長：新規の住宅を求める小学校入学前くらいの子育て世帯ならば移住の可能性はあるが、小学校入学後では子どもたちで人間関係ができているので政策を打ってもなかなか難しい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 塩島職務代理：子育て世帯から自分の土地に帰ってきたいが農振等土地利用の制限で家を建てることができないと相談を受けたことがあります。規制上どうしようもないこともあるとは理解していますが力になっていただけるとありがたいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 遠藤町長：土地の状況によって農地を転用できるかは変わってきますが上下水道に接続することができる土地であること等お金がかかったりすぐには解決できなかったり、農業振興地域特に大塚地区は農業がさかんな地域のため対象地番が多く優良農地保護の観点からなかなか対象地から外すことは難しいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 総務施設係横田：全ての土地が建築できないというわけではありませんが農振法で定められた条件をクリアしなければ農地保護の観点から農振農用地の対象地から外すことはできません。対象農地周辺が全て農地でないことや周辺宅地や農振がかかっている農地で利用可能な土地がないか等ありますが、一番大切なのはそこでなければならない理由です。農振除外要望を提出される方で多いのが、地元で家を建てたいので自分の所有する農地の農振を外してもらいたいという要望ですが、他の地域ではなく対象地域でその土地でなければならない理由や除外要望農地周辺に宅地や農振のかかっている農地を利用できないまたは購入できない理由が必要になります。この条件は農振農用地除外の条件であって農地を宅地に変更するには農地法の条件と家を建てるには建築基準法もクリアしなければなりません。要望者のお気持ちもわかるのですが法律を遵守し対応しなければならないので町民が増えるのだからなんとかならないかでは希望に沿った対応は難しいです。なんとか要望者の希望に沿えるよう県と協議に行きますが以上の条件がクリアできていないと除外の要望が通りません。 |
| 渡井教育長：別の視点からですが、子育て世帯はどのような環境ならば移住して子育てをしたいと思うものでしょうか保護者の小林委員どうでしょう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 小林委員：私はこの町で子育てをしましたので当然と思っていましたが、市川三郷町では比較的早く医療費が高校まで無料だったり、子どもの預かりでも埼玉では8千円、1万円くらいとられていました。他の町村でも同じような子育て支援が増えてきていますのでそれ以上の支援考えれば9年間子育てするので良い環境になるのではと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 渡井教育長：お聞きしたのは僕の娘も市川三郷町で子育てをされていて充実した補助があるという話を聞いていたのでそのよ話が聞けるのかなと思ってお聞きしました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 遠藤町長：今の子育て世代の方たちは車をシェアしたり定住に関しても新築でなくてもいい等新しい考えを持っています、そのような方々に定住をどう進めていくかはわかりませんが時代がかなり変わっていることを感じます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 渡井教育長：資本主義が進めば進むほどそのような傾向が強くなるのではないかと思います。定住の必要がなくなりどこでも仕事ができる現状です。そのなかでこの町にしかない魅力が重要だと考えていまして、最初に戻りますがみさと学が重                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

要になるのではないかと思います。定住と言わなくてもどこかには住まなくてはならないので、子育ての政策や市川の文化などがアピールの一因になったらいいと思います。

遠藤町長：他になにかございますか。

今村委員：若者の言葉についてなのですが、今まではら抜き言葉がよく言われてきました。最近はネットやゲームの影響かやばいという言葉がいい意味でも悪い意味でも通じて使用されて語彙力の低下が見受けられます。不登校の子に理由を聞いても言葉で表現ができないという事例もあるそうです。言葉は小さなころからの体験を通して習得していくものだと思います。みさと学の計画に多くの体験活動が予定されていますのでそれは言葉やこころを育てる大切な要素だと思います。日本語は1つの心情を様々表現ができる言語ですので豊かに話すことができる子どもたちに育てそれが生きる力だと思います。10年後20年後に市川三郷町の魅力を表現できるような大人になってもらい、みさと学に子どもが提言するような活動もあるようなのでそのような機会があれば提言を聞き住みよい町になればと思います。

遠藤町長：埼玉県戸田市で不登校対策としてメタバースを導入しています。メタバースはネットで自分の分身を作り言葉を使用せずエモーションという手をたたくや手を振るなどのコミュニケーションで友達を作ります。相手の性別や年齢はわかりませんがそこでコミュニケーションを学び言葉を使用しない不登校対策としています。教育長いかがでしょうか。

渡井教育長：言葉ありきで、言葉がきちんとできていなければいけないし言葉でつながりができていくのだと思います。メタバースの話が町長からでしたので新聞を見ると甲斐市でもメタバースで家庭学習的なものを施行するとあります。これはコミュニケーションが苦手な子がメタバースを通して誰かと知り合い、もしその中で授業を受けることができたなら学習保障にもなると記事を読んで感じました。メタバースでの言葉を使用しないコミュニケーションにも利点はあると思いますがメタバース内授業を行うならば言葉は必要になると思いますので、お互い相容れぬものだと思います。

遠藤町長：一人一台タブレットを持っているのでメタバースでの授業配信も可能ではないでしょうか。

渡井教育長：社会経験として体験して肌で感じることも必要ですのでそれ以外はできるかもしれません。

遠藤町長：全校同じ授業をすることも可能でしょうか。

渡井教育長：可能だと思いますが、一時期教え方日本一みたいな先生の授業を配信すればオンラインでできてしまうのではないかと  
いう話もありましたが、たとえそうでも人を繋ぐという意味でも教室に先生は必要だと落ち着いた気がします。

遠藤町長：他に何かございますか、以上で議題は終了とさせていただきます。

#### 4.閉会

渡井教育長：長時間ありがとうございました。ざっくばらんな感じでお話できてとても有意義な機会であったかなと思います。これでまた本町のさらに推進していくことを祈念いたしまして総合教育会議を閉じさせてもらいたいと思います。どうもおつかれさまでした。

(午後2時30分閉会)